



未来を見据えて個性を伸ばす ～可能性 尊重 挑戦～

校長

私が小学生の頃、友だちの家にビデオデッキがやってきた時の衝撃を今でもよく覚えています。テレビ番組は見逃したらもう二度と見るできない時代ですから、「録画していつでも見ることができる」なんて、考えたこともありませんでした。みんなでその友だちの家にお邪魔して、過去の番組を見せてもらいながら感動し合ったのを思い出します。

そして月日は流れ、今や子どもたちは1人1台のタブレット端末を持って学習をしています。SFやアニメの世界の話だと思っていた未来の世界が少しずつ現実のものとなり、私たちの常識をことごとく変えています。

「生成系AI」の出現など、一層変化のスピードを増している現代社会ですが、笹口小学校の子どもたちが社会に出る頃は、どうなっているのでしょうか。子どもたちの教育を考える時、数歩先の「未来」を見据えた上で、子どもたちの「個性」をどのように伸ばしていけるかを考えなければなりません。

一方、厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所が公表した「将来推計人口」によると、日本の総人口は約30年後に1億人を割ります。約50年後には現在よりも3割減の8700万人となり、高齢者は人口の4割を占めるようになります。外国人が増え、性に対する考え方のスタンダードが変化していることも予想できます。多様性を尊重した人とのかかわりのあり方が、一層重要となってきます。

このような未来予想図の中で、学校は、「未来をたくましく生き抜く力の育成につながっているか？」という問いを常に念頭に置きながら、教育活動を進めていく必要があります。加えて、これらの教育活動を支えるために、学校が子どもたちの「ほっとステーション」となり、生き生きと個性を伸ばしていける環境であることが何よりも重要です。

笹口小学校では、今年度「可能性を伸ばす力」「尊重し合う力」「挑戦する力」の育成を柱にした教育ビジョンを作成し、未来をたくましく生き抜く力を育成するための知識・技能・思考力の習得や心の育成に取り組んでいます。全ての教育活動においてこの教育ビジョンを意識した手立てを講じ、その都度達成状況を検証し、改善を図るというサイクルで教育活動を進めています。例えば、各行事や活動において、「可能性」「尊重」「挑戦」の視点でめあてを立てたり、振り返りをしたりして、自己の成長につなげています。

本誌面では、運動会を例にその様子を紹介します。学校の取組について共有し、保護者・地域の皆様と協働しながら教育活動の充実を図っていきたいと考えています。

学校教育ビジョンで目指す3つの資質・能力
「可能性を伸ばす力」「尊重し合う力」「挑戦する力」について、
運動会を振り返って、子どもたちが自分の成長を確かめました。
*子どもたちが振り返りカードに書いたものの一部を掲載します。

1年

みんなでおうえんして楽しかったよ。(尊重)

1年

50めえとるそうではやくはしれたことがたのしかったです。(可能性)

1年

50めえとるそうでろけっとすたあととしてがんばったよ。(挑戦)

1年

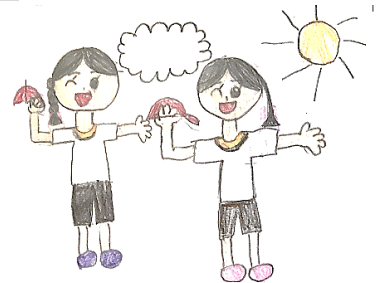
ダンシングシュートで頑張って投げれてうれしかったです。(可能性)

1年

応援で大きな声で頑張って歌いました。(尊重)

1年

50m走で、全部の力で1位を取れました。(挑戦)



2年

50m走で1年生の時の自分より速く走れました。進化したなと思いました。(可能性)

2年

赤組も白組も、ダンシングシュートや、50m走、新潟甚句を練習の時よりも上手にできていいなと思いました。(尊重)

2年

50m走で僕は3位になりました。でも僕は悔しくなりました。次は1位を目指して走りたいです。
(挑戦)

3年

上の学年の人がすごく頑張っていて、自分ももっと上の学年とおんなじくらい80～100m走を頑張りたいです。(挑戦)

3年

運動会で「みんなで精一杯取り組んで笑顔で楽しい運動会にしよう」というめあてを守れていたから、みんなで楽しい運動会にできたと思ったし、リレーでも頑張って汗をかいている人がいっぱいいたので、みんなが頑張っているのが伝わりました。(尊重)

3年

リレーでは、チームで力を合わせてバトンを落とさないようにできました。あきらめないで最後まで走りました。(挑戦)

4年

赤組が勝ったので嬉しかったです。だけど、白組のほうが応援の声が大きくて気持ちが伝わる応援だったので、応援賞は白組がいいと思いました。(尊重)

4年

応援団の人たちが、高学年がリレーでいない時もちゃんと打合せをして1～4年生をまとめて応援していたので、とてもすごくてカッコいいと思いました。今年は、応援団になれなかったけれど、来年またチャレンジして、今度こそ応援団になりたいです!! (挑戦)

4年

はじめは、周回リレーをやる時、「本当にできるのかな。」「4位になったら、自分のせいになるのではないか。」と、プレッシャーでいっぱいでした。だけど、みんなと頑張って練習に取り組んでいるうちに、自信がついてきました。おかげで、運動会当日、1位になれたので、少し涙が出ました。とってもとっても嬉しかったです。(可能性)

4年

運動会で応援団ができて、とても楽しかったです。また応援団をやりたいです。また、リレーや80m走も楽しかったです。5年生になっても楽しい運動会にしたいです。(可能性)

5年

今年の運動会で、新しく委員会の責任ある仕事を覚えられました。総務委員会ではたくさん仕事を取り決めて達成感を実感できました。自分できめた順に並べるというめあてにもがんばれて良かったです。来年の運動会は最後の運動会なので本気で、取り組みたいです。(挑戦)

5年

同じ組の人の良かったところは、競技で精一杯応援をしていたことがとても良かったなと思いました。楽しかったことは、高学年リレーです。理由は、みんなで協力して走ってすごく楽しかったです。(尊重)

もう一つはアナウンスです。理由は、めあてに書いてあることを達成してとても楽しくできたのでよかったなと思いました。(挑戦)

うれしかったことは、自分の組が勝ったことです。私は勝ったとき、泣いちゃうくらいうれしかったです。めあてに「悔いが残らないように」と書いてあったけど、本当に悔いが残らない運動会になりました。(可能性)

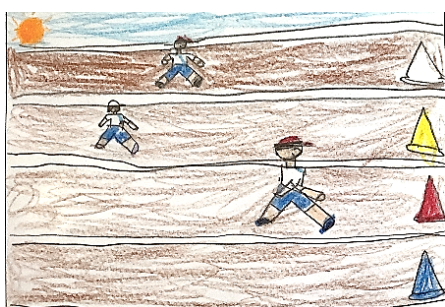
6年

私はバトンを渡された時、「悔いのない運動会にするんだ!」と心の中で思い、全力で走りました。リレーの結果は3位だったけど、笑顔で終わることができました。私は今年の運動会で本当の全力の意味がわかった気がします。何事も中途半端にしていると、終わっても何が楽しくて、何が悔しかったのかが、自分の言葉で表現できないけど、自分の目標をもっているとがんばらなきゃいけないことがはっきりして、そこに向かって精一杯取り組むことができました。(可能性)

決審係の仕事は、頑張ったけど4位になってしまった子に必ず一言声をかけてあげようと思っていました。応援も赤白帽子が吹っ飛んだくらい大きな動きで声援をおくることができました。(挑戦)

応援団長の二人が一生懸命頑張ってくれたおかげで、全校のみんなの気持ちが一つになれたと思います。大変なこともそこを乗り越えた時に自分たちが成長できたと実感するし、ひっぱってくれた応援団長二人には尊敬の気持ちでいっぱいです。頑張った自分にもクラスの自分にも「ありがとう!」と言いたいです。(尊重)

(編集等：笹口小学校 評価・発信部)





教育目標

磨く 磨き合う

自分の可能性を磨き

互いにリスペクトし合う学校を目指して

そのために付けたい資質・能力

幸せな学校

幸せな地域

可能性
を伸ばす力

尊重
し合う力

挑戦
する力

自分はやれる
みんなとなら
もっとやれる

子どもが
主役です

人を大切
にします

安心して
力を発揮

- ★ ノート・iPad を活用して自分の考えをつくり表す授業
- ★ 授業や行事における選択の保障と目標設定
- ★ 生活科・総合学習、縦割り班活動の充実
- ★ 特別支援教育の教員研修

- ★ 一人一人の名前を大切にする取組
- ★ 自治的で温かい学級・学年をつくるクラス会議
- ★ 子ども同士考えを共有し協働的に解決する学習
- ★ 子どもの人権を守るいじめへの毅然とした対応

- ★ 教科担任制の全学年実施
- ★ 子どもの良い姿を語り合う週2回の教員研修
- ★ 光のページェントや全校遠足など地域総がかりの取組

子どものよさを見つけて伸ばす

みんなで
育てます

学校運営協議会
民生児童委員

保護者の皆様
ほっとハウス

笹口コミ協
光ペ実行委員会

セーフティスタッフ
PTA ボランティア

専門学校
店舗の皆さん



教育ビジョンとは…

笹口小学校の教育活動を推進していくに当たり、今年度大切にしていけることを図示した学校経営方針です。